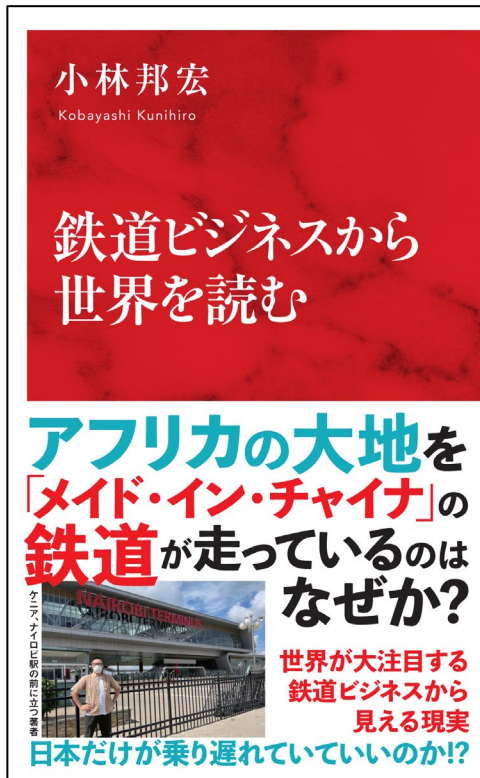




インターナショナル新書

『鉄道ビジネスから世界を読む』

小林邦宏

(旅するビジネスマン、ユーチューバー)

定価：858円（10%税込）

体裁：新書判／176ページ

発行：集英社インターナショナル（発売：集英社）

ISBN：978-4-7976-8106-2

8月5日(金)発売

中国の巨大な資本が流れ込み、世界が注目する鉄道ビジネス。
日本は乗るべきか、降りるべきか？
ポストコロナ時代の「次の駅」はどこだ！？
全ビジネスマン必読！！



小林邦宏(こばやし・くにひろ) 旅するビジネスマン、ユーチューバー。

1977年生まれ。東京大学卒業。住友商事の情報産業部門に配属されるが、世界中を旅しながら仕事をするという夢を実現するため退社。28歳で自ら商社を起業し、花、水産物、プラスチックなどの卸売りを開始。「大手と同じことをやっていては生き残れない」という考えのもと、南米、アフリカ、東欧、中近東などに赴き、知られていないニッチな商材を見つけ、ビジネスを展開。著書に『なぜ僕は「ケニアのバラ」を輸入したのか？』（幻冬舎）。

—本書第1章より—

ケニアでも中国からの支援でモンバサ・ナイロビ標準軌鉄道（全長約490km）が敷設され、17年5月に開業している。この鉄道の走る高架橋を、私はナイロビ国立公園のなかから眺めたことがある。多くの野生動物が生息し、自然公園にも制定されている雄大なアフリカの大地を横断するように中国製の鉄道が走る光景を想像すると、私は強いショックを受けた。圧倒されたといってもいい。けれど、同時にそれは現在の中国経済が持つ“力”を雄弁に語るリアルな情景でもあった。

このように、現在、アフリカの大地ではメイド・イン・チャイナの鉄道網が恐るべき勢いで整備されていっているのである。

—目次より—

- 第1章 鉄道ビジネスがデザインする「権力」と「国家」
- 第2章 中国の融資の罫とグローバル・スタンダード
- 第3章 欧米のスタンダードか中国のやり方かの二元論を超える
- 第4章 変化と流動の時代のビジネスチャンス
- 第5章 会社を辞めて見つけた自分のスタンダード



エチオピア

ネットの情報だけでは、世界の動きは読み切れない！

現場でこそわかることがある

現場でしかわからないことがある

低成長に慣れすぎた日本人に伝えたい

今の世界のビジネススタンダード

※ぜひ貴媒体にてご紹介をご検討いただけますと幸いです。下記までお問い合わせください。

【本書のお問い合わせ先】

編集担当：集英社インターナショナル 出版部

電話 03-5211-2630 公式サイト <https://www.shueisha-int.co.jp>